

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」袋井校		
○保護者評価実施期間	2024年11月 18日		～ 2024年 12月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2024年 11月 18日		～ 2024年 12月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別に児に対応することができる。	利用児ごとに個室を用意して、集中して課題を行うことができるよう配慮し、また広い空間を共有して粗大運動等を行うことができるようにしている。	同時刻の利用児の年齢を揃えたり、小集団活動を月に1回以上行えるよう設定したい。
2	親支援ができる。	支援を行う際に保護者に同室を声掛けしたり、また、少し離れて観察していただく、半分程度を見ていただくなど利用児によって保護者の対応を検討し、また見学や申し送り時に利用児の特性への対応等を共有して家庭での取り組みに生かしていただくなどの親への支援を行うことができる。	保護者会への参加を呼びかけ、放課後等デイサービスの保護者とも交流を図ることで、成長した姿について思いを馳せたり、不安を解消したりといった利点がある。
3	児童発達支援から放課後等デイサービスへの移行が同事業所内でスムーズに行える。	年長児には小集団での「学校ごっこ」への参加を声かけしている。学習机を使用して一斉指示を聞き行動することを経験して就学への期待感を醸成することができる。	現在は、土曜日の午前に小集団活動を設定しているが、希望によっては土曜日の午後に設定するなどニーズに合わせて柔軟に活動を行いたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	小集団以上の人数での活動が難しい。	個別支援を前提として利用者の時間を配分しているため、職員数以上の利用を呼びかけることが難しい。	近隣のきらり校舎と合同にて活動を行うことにより、同時刻利用児の増加と職員の増員が見込まれる。
2	外活動を行うことが難しい。	近隣に遊具のある公園などもあるが、外での活動を行うとすると天候や利用児の健康状態、道中の安全への配慮など必要なことが多くあり、実現が難しい。	季節によって外活動を事前に計画に組み込むことにより、保護者の了解を得たり職員同士の動線の確認などを行うことができる。
3	調理等の食育を行うことが難しい。	事業所に調理場所の確保や道具・用具の準備が無いことと、食品衛生責任者が不在であること等の課題がある。	事業所で使用できる調理場所、用具の選定を行い、職員が食品衛生責任者の講習を受講する予定。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」袋井校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 2024年12月10日 21人(兄弟児1)

回収数 20

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	0	0	1		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	18	1	0	1		法令を遵守して運営しております。職員の配置数は適切ですが、公休日によって出勤職員数にばらつきがあります。ご理解いただけるよう努めます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	2	0	2	子どもが活動をやりたくないと言った時、本人がやってみようかと思えるよう工夫や後押しをお願いしたい。	楽しい雰囲気の中で声掛けや提示の仕方を工夫し、お子様が挑戦する気持ちを喚起できるよう努めます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17	1	0	2		事業所のプログラム公表と提供する支援内容は合わせて行うよう努めると共にご説明に努めます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	0	0	1		職員全員で個別支援計画作成に携わり、お子様の状況について理解を深めると共に保護者様へ丁寧な説明に努めご意見を伺いながら作成しています。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	0	0	1		個別支援計画には「本人支援」「家族支援」「移行支援」を適切に盛り込み、具体的な支援内容を設定して作成し、保護者様へご説明に努めます。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	0	0	2		児童発達支援計画に沿った支援を行っていることを申し送りやモニタリングで内容を詳しくお伝えすることでご理解いただけるよう努めます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	4	0	2	・本人のその日の気分によってスタッフが対応していると思うので。 ・毎回、何をやっているのか口頭で教えて頂くので忘れてしまったりする。家でも活用したいのでもっと内容を知りたい。手間かとは思いますが、見返せたりするように紙等で渡してもらえると有難い。	ご利用児の様子丁寧な観察と保護者様への丁寧な説明に努めます。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	9	2	3	6	個別療育なので、接する機会がないのは承知している。	職員がご利用者の子ども園や幼稚園へ集団での様子を見学に行き、情報の共有に努めています。
保 護	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	2	0	3	もしあれば、積極的に参加したい。	保護者会にて講話や研修の機会を作っています。来年度の内容はまた検討してお伝えします。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	19	0	0	1		来所時に児発管・指導員共に保護者様と密にお子様について情報共有に努めて理解が深まるように更に努めます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	3	0	2	・親もスタッフを信頼していますので、いつもいろいろなお話に付き合ってくださいありがとうございます。 ・毎日の中ですごく悩んでいるという事はないが毎回の関わりの中で些細な事でも気付いたこと、それに対してのやり方のアドバイスや家での支援に生かせる提案があると嬉しい。	お子様への関わり方のアドバイスなどの提案は申し送り時や来所時にお声掛けいただくとお伝えできるかと思います。機会を逃さずお伝えできるよう努めます。

者 へ の 説 明 等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	0	0	1	・親にも子にも共感的に支援をして下さり、ありがとうございます。 ・家ででの支援に生かせる提案があると嬉しい。	お子様の表れについてまずは受け止め、理解することに努めています。支援で有効な働きかけは都度お伝えをするよう努めています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	5	1	2	本来なら妹はきらりでおもちゃ等で遊べないと思いますが「妹さんも一緒にどうぞ！」といった声を掛けて下さり、遊ばせていただけるのが有難いです。	妹さんとの関わり等も見させていただき支援に生かしています。きょうだい同士の交流については検討します。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	0	0	1		相談希望などの体制の整備を行い、機会ごとお伝えしています。更にご理解いただけるよう努めます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	0	0	1		お子様や保護者様との意思疎通のため、担当指導員の配慮でやり取りを増やしたり、情報伝達のためLINEや個別のTELなども利用して努めています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	15	2	0	3		校舎LINEで毎月の情報発信とホームページで自己評価の結果の公表をして、ご覧いただくようお願いいたします。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	0	1	1		お渡し書類や実績記録票の氏名確認を確実にします。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	1	0	1	少し大きな子達の訓練の様子はLINEで見ますが未就園児等も実施するのでしょうか。	放デイ児・児発児と月によって訓練参加児が変わります。未就園児の訓練も年度内に行う予定です。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	1	0	2		毎月、防災訓練を行ってLINEとHPへ公表しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	1	0	1	・母の送迎時のトラブルにスタッフさんが速やかに対応してくれました。ありがとうございます。	常にご利用児と保護者様の安全に配慮して行動しています。
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	19	0	0	1		ありがとうございます。利用を始めたばかりの方にも楽しい居場所と思っていただけるよう努めます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	19	1	0	0		支援内容を工夫することで新しい活動にわくわくして楽しく取り組めるよう努めます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	2	0	1		ご利用児と保護者様へ支援のねらいや達成できたことなどを具体的に詳しくお伝えすることを更に進めてご理解いただけるよう努めます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」袋井校				公表日	2025年 2月 15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	各支援室を利用児の活動に応じて各指導員が事前に相談して使用を決めている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	保育士・児童指導員・言語聴覚士の有資格者にて支援を行っている。	定員に対しての職員数は法令を遵守しているが、公休者にさらに体調不良者が重なると出勤職員の負担が重くなる場合がある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	玄関は階段とスロープが設置され、室内もバリアフリー対応がなされている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	毎時間ごとにアルコール消毒と換気を行い、また利用児ごとに適切な大きさの机と椅子を用意している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	基本的に個室での個別療育を行うが利用児の状態によって小集団活動時でも個室で落ち着くなどの利用はできるようにしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	各職員が目標設定と振り返りを半年毎に行い上長と面談を行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	保護者向け事業所評価は100%の回答をいただき、職員全員で振り返りを行った。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	半年毎の面談にて意見を把握して、全体で取り組むべきものについてはタイミングを合わせて改善に繋げている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6		外部評価については全社的に検討中。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	年間を通して内部・外部ともに様々な研修に参加している。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	望ましい支援プログラムが作成、公表されている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	児発管が保護者モニタリングを行い、計画作成している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	指導員が支援を踏まえてモニタリングを行い、計画原案についての会議を全員で行って児発管が本計画を作成している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	計画は常に支援ファイルにて確認して支援準備が行えるようにしている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	アセスメントシートを活用して支援内容を検討して支援を実施している。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	ガイドラインの内容に照らし合わせて支援内容を選択し設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	複数の指導員で支援を担当し、利用者の状況に合わせて内容を検討している。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	季節に因んだ小集団活動や月替わり工作の提示を行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	個別支援に加えて毎月同年齢による小集団活動を設定して支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	支援開始前の朝礼や指導員同士の声掛けで個別支援の内容確認や小集団活動時の役割分担等を確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	終業時に支援についての振り返りを行うとともに週3回は振り返りの時間を設けて情報の共有に努めている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	各指導員が担当した支援について記録してプリントアウトし、他の指導員と共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	半年を目安に指導員、保護者とそれぞれにモニタリングを行い、次の計画の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	児発管と担当指導員が参画している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	保健センターの集団活動の見学や協力医訪問にて情報交換、保護者の要望にて園訪問と会議を行い、市、児発センターの支援見学や研修等に参加している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	保護者の要望にて園訪問と会議を行い、さらにでの個別支援の様子をお伝えし、集団活動での利用児の状況について情報共有したり相互理解を図ったりしている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	4	保護者へ働きかけ、サポートブックを作成して担任と情報共有するよう促している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	1	市の子ども早期療育支援センターでの支援見学や利用児の情報共有に努め会議でそれぞれの役割分担について話し合うなどしている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	浜松市はんだ山保育園にて職員が実習を行い、また利用児の通園する子ども園、幼稚園などを訪問して、集団での様子を情報共有した。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	家庭や園での様子について、モニタリング時だけでなく日頃から様子を伺い、現状について職員とも情報共有している。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	ファミカフェ(保護者会)を実施して、講話部分で「言語聴覚士から見た療育」のテーマで研修を行い10名の参加希望があった。	日程の都合で参加できない保護者があるため、開催日については検討したい。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	運営規定は玄関にて常に掲示している。利用者負担等について契約時や通知書配布時に児発管が個別に説明を行っている。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	毎回の支援後や半年ごとの保護者モニタリング等でこどもや保護者の意向を確認している。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	保護者モニタリングの際に支援計画を示して内容の説明を行い保護者の意見を取り入れながら同意のサインをいただいている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	毎回の支援時やモニタリング、面談等を必要に応じて行い児発管や保育士が助言や支援を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2	保護者会を毎年開催して保護者同士の交流を促している。	きょうだい同士での交流については検討したい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	来所時やモニタリング等で家族支援についてお伝えし、急遽の相談や相談の予定についても対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	HPにブログを載せたりLINEで定期的に情報を発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	書庫や事務所に施錠して管理している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	視覚補助や動作の補助など必要に応じて配慮して対応している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	今年度は、行っていないため来年度に検討したい。	昨年度まで市のスクールサポーターから防犯指導を受けたりスポーツ推進委員からニュースポーツを教えていただいたりしたので来年度に検討したい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	社内の各委員会でもマニュアルやチェックシートを作成している。また、発生を想定した訓練を行っている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	BCPは玄関の閲覧ファイルへ入れ掲示している。また、利用児が参加する防災訓練を毎月行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	保護者から提出の基本情報シートにて確認しているほかに最新の状況については来所時に確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	小麦粉粘土等の使用については保護者を通して医師からのアレルギー指示を確認して対応している。校舎内で飲食の提供は行っていない。	菓子の持ち帰りについては、保護者へ都度確認して対応している。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	安全計画は作成して、玄関の閲覧ファイルへ掲示している。安全計画に沿って必要な訓練を行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	安全計画は作成して、玄関の閲覧ファイルへ掲示している。災害時の対応等については別紙で保護者へ周知している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	ヒヤリハット事案については報告書を作成して職員全体で情報共有するとともに、再発防止に向けて全員で検討している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	毎月チェックシートで振り返りを行うとともに定期的に研修を行っている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	必要に応じて同意書を作成。また個別支援計画作成の面談時に保護者と記載を確認している。		